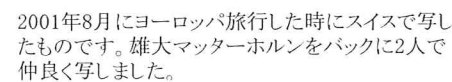
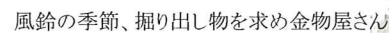
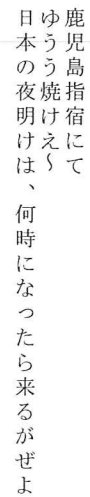


川柳「次世代」
写真「お気に入り」
です。では早速どうぞ！

莽世代

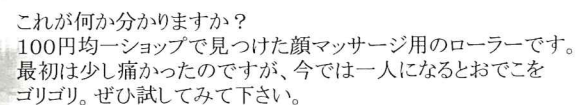


A group of men in dark suits and ties are seated behind a long wooden table on a raised platform or stage. They are facing forward, and some are looking towards the camera. On the table in front of them are several green plastic bottles and white papers. Behind them, a white backdrop displays vertical Japanese text. The setting appears to be a formal conference or press event.

A large group of people are seated at long tables in a conference room, attending a presentation. A screen at the front displays a slide with text. The room is well-lit, and the audience is focused on the presentation.

本年度の岡山建築設計クラブのテーマは「変化の時代、求心力のあるOKCづくり」です。変化の時代、設計クラブのあり方を再考するという観点をから、今年で21回を迎える予定の学校との懇談会を一時休止し、考えなおしてみようという事となりました。

そこで6月26日(土)10時よりOKC事務局にて、学校の先生とOKCメンバーにより「学校と岡山建築設計クラブの今後の連携について」と題して学校との意見交換会を開催しました。大学4校、専門学校3校、高等学校3校で各校1名の計23名の出席をいただきました。会では次の通りです。



・例年の学校との懇談会について、ワンデーに話題が集中したり上辺だけの交流であった。もっとお互いに心を開いた交流が必要ではないか。

・学生がもっと意見が述べられる工夫が必要。

・学生の作品を持ち寄りプレゼンを行い、OKCメンバーが意見を言う。また逆にOKCメンバーが作品を説明、学生が質問をするような会にする。

・OKCメンバーが各学校に出向いて講演又は授業を行ない、コミュニケーションを計るとともに、学生の指導を行い地元での採用活動の一助とする。賛助会委員も講演又は授業に参加する。



・学校として今のコンペ方式では学生の負担が大きすぎる。授業としての課題や他のコンペも多くあり参加が困難である。・高校生は時期的なものもあり、なかなか参加できないが、見学はさせた

い。・高校生は大学のOA入試での優位性があるので参加を勧めたいが、学生の判断はまちまちであり毎年の参加難しい。

・今のワンデーは硬直化している、OKC自体がワンデーにとられすぎている、原点に帰る必要があるのではないか。

○その他

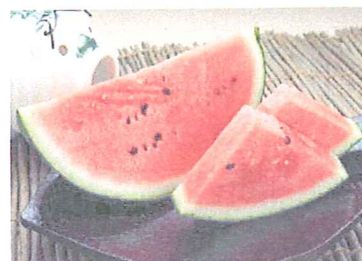
・オーブンデスクについて情報が欲しい。



・OKC主催の勉強会（例会）、見学会に学生も参加し交流をはかる以上のことから、OKC活動が硬直化し表面だけの連携となっているのではないかと心から感じ、交流が求められていたのではないでしようか。

特にOKCの中心的事業のワンデーエクササイズについてはコンペ方式にするか、ワークショップにするか、今後継続していくには大きな課題となりそうです。来年以降、次への展開として活動のあり方を検討していかないければなりません。みなさまのご意見、ご協力をお願いいたします。

お願ひまた今回一旦立ち止まり先生方と意見交換会を行なったことで、先生方の岡山建築設計クラブへの思いがわかり、今後お互いの連携を深めていく上で大変有意義であったこともご報告いたします。



次世代に期待を込めたあみだくじ